

G7広島サミットの開催概要について

1 要旨・目的

令和5年5月19日～21日に本県で開催されたG7広島サミットについて、その開催概要を報告する。

2 現状・背景

- 令和3年11月30日 県・広島市・広島商工会議所による誘致表明
令和3年12月20日 国に誘致計画書を提出
令和4年1月26日 「2023年G7サミット広島誘致推進協議会」を設立
令和4年1月27日 岸田内閣総理大臣・林外務大臣に広島開催を要望
令和4年5月23日 岸田内閣総理大臣が広島開催を発表
令和4年7月21日 官民連携の推進組織「広島サミット県民会議」を設立
「安全安心で円滑な開催支援」「広島らしいおもてなし」「平和発信」「広島の魅力発信」「若者の参画」の5本柱に基づき事業展開
令和4年10月5日 県民会議会長・副会長から、岸田内閣総理大臣・林外務大臣に、被爆の実相に触れる機会の確保と平和メッセージの発信、若者の参画、県産品等の積極的な活用に係る要望活動
令和4年12月15日 「G7広島サミット交通総量抑制対策推進会議」の設立
令和5年3月13日 小型無人機飛行禁止条例の施行（令和5年5月22日失効）
令和5年5月19日～21日 G7広島サミット開催
令和5年5月26日 県民会議会長・副会長が、林外務大臣を表敬訪問

3 開催概要

(1) 参加国等

ア G7メンバー

フランス、米国、英国、ドイツ、日本、イタリア、カナダ、欧州連合（EU）

イ 招待国

豪州、ブラジル、コモロ（アフリカ連合議長国）、
クック諸島（太平洋諸島フォーラム議長国）、インド（G20議長国）、
インドネシア（ASEAN議長国）、韓国、ベトナム

ウ 招待国際機関

国連（UN）、国際エネルギー機関（IEA）、国際通貨基金（IMF）、
経済協力開発機構（OECD）、世界銀行、世界保健機関（WHO）、
世界貿易機関（WTO）

エ その他参加国

ウクライナ

(2) 首脳プログラム

日程	公式行事	場所
5月19日	<ul style="list-style-type: none"> ○岸田総理夫妻によるG7首脳夫妻出迎え ○平和記念資料館訪問、原爆死没者慰霊碑献花、植樹 ○セッション1 (ワーキング・ランチ) 「分断と対立ではなく協調の国際社会へ/世界経済」 ○セッション2 「ウクライナ」 ○厳島神社訪問 ○セッション3 (ワーキングディナー) 「外交・安全保障」 	平和記念公園 グランドプリンス ホテル広島 厳島神社 岩惣
5月20日	<ul style="list-style-type: none"> ○セッション4 「パートナーとの関与の強化 (グローバル・サウス、G20)」 ○岸田総理夫妻による招待国首脳・国際機関の長夫妻出迎え ○セッション5 「経済的強靱性・経済安全保障」 ○セッション6 「複合的危機への連携した対応」 ○グローバル・インフラ投資パートナーシップに関する サイドイベント ○セッション7 「持続可能な世界に向けた共通の努力」 ○社交行事 	グランドプリンス ホテル広島
5月21日	<ul style="list-style-type: none"> ○招待国及び国際機関の平和記念資料館訪問及び原爆死没者 慰霊碑献花 ○セッション8 「ウクライナ」 ○セッション9 「平和で安定し、繁栄した世界に向けて」 ○議長国記者会見 	平和記念公園 グランドプリンス ホテル広島 平和記念公園

(3) パートナーズプログラム

日程	公式行事	場所
5月19日	<ul style="list-style-type: none"> ○岸田総理夫妻によるG7首脳夫妻出迎え ○平和記念資料館訪問及び原爆死没者慰霊碑献花 ○上田流和風堂訪問 (昼食会、呈茶) ○次世代シンポジウム ○夕食会及びアフターディナー 	平和記念公園 上田流和風堂 おりづるタワー
5月20日	<ul style="list-style-type: none"> ○厳島神社訪問 (拝観、舞楽鑑賞) ○昼食会 ○岸田総理夫妻による招待国首脳・国際機関の長夫妻出迎え 	厳島神社 宮島ブルワリー グランドプリンス ホテル広島
5月21日	<ul style="list-style-type: none"> ○招待国首脳配偶者による平和記念公園訪問及び原爆死没者 慰霊碑献花 ○広島県立美術館・縮景園訪問 (蒔絵体験・鯉のえさやり) 	平和記念公園 広島県立美術館・ 縮景園

(4) その他

ア 食のおもてなし

首脳プログラム、パートナーズプログラム、国際メディアセンター等において、広島県産の豊富な食材を用いた多彩な料理や、県産の日本酒やワイン等の飲料、茶菓子などが多数提供された。

イ 社交行事における広島神楽の披露

岸田内閣総理大臣夫妻が主催したG7及び招待国の首脳並びに国際機関の長とその配偶者を招いた社交行事 (夕食会) において、世界の繁栄や平和への祈りが込められた、広島神楽のデモンストレーションが披露された。

ウ 県民会議から首脳等への贈呈品

【G7首脳】今井政之 (広島県名誉県民、文化勲章受章者) 陶芸作品 (花瓶)

【招待国首脳及び国際機関の長等】三上貞直 玉鋼ペーパーナイフ

4 サミット期間中における県民会議の主な取組状況

(1) 広島情報センターの設置

報道関係者の拠点となる国際メディアセンター内に、「広島情報センター」を設置し、県内 23 市町の様々な魅力の発信や、平和に係る広報展示等を実施した。

魅力発信ブース	広島伝統工芸、広島心、広島技術、広島環境、広島食と酒
平和関連ブース	被爆・復興・未来へ

また、知事による比婆牛等のトップセールスや大型モニターを活用した観光PR、神楽衣装の試着やお茶席等の体験スペース、牡蠣・お好み焼・日本酒などの試食・試飲、和菓子作り等の実演、23 市町のオリジナリティ溢れる観光・特産品展示などを行った。

【速報値】 延べ来場者数 50,327 名（うち外国人 4,967 名）

（参考）三重情報館（三重県営サンアリーナに設置した国際メディアセンター内）
延べ来場者数 12,729 名（うち外国人 1,202 名）

(2) 各国首脳等による平和プログラムの実施支援

県民会議から日本政府に対して要望していた各国首脳等が被爆の実相に触れるための平和プログラムの運営について、実施に必要な支援を行った。

(3) 各国首脳等による宮島訪問の実施支援

首脳等による宮島訪問に当たり、地元住民や観光関連事業者への対応を行うとともに、旅行者に対する注意喚起を行うなど、実施に必要な支援を行った。

(4) インフォメーションカウンターの設置

広島空港、広島駅、国際メディアセンター内にインフォメーションカウンターを設置し、学生ボランティアによる交通・観光等の案内を行った。

5 広島サミットの結果と今後の方向性について

- 今回のサミットは、国際情勢が緊迫化する中での開催であったため、平和の回復と維持が重要なテーマであり、サミットのテーマと広島が持つメッセージ性が一致する歴史的なサミットになった。
- 県民会議の要望（被爆の実相に触れる機会の確保等、若者の参画、県産品等の積極的な活用）が実現し、とりわけ世界に向けた力強い平和のメッセージが発信された。
- また、県民会議では、県内 23 市町の様々な魅力発信に取り組んできたところであり、首脳等だけでなく、多くの報道関係者にも広島の多彩な魅力に触れていただいた。
- 加えて、首脳等の平和記念公園訪問時に、地元の小中学生から花輪等を渡したことや、多くの学生がボランティアとしてサミットの開催を支えていただいたことなど、様々な場面で若者に参画をしていただき、これらの機会は、将来の広島の担い手である若者の自発的な行動を後押しするきっかけとなった。
- 今後は、広島サミットで得られたこうした成果や経験を未来にしっかりとつないでいくとともに、サミットで高まった広島に対する様々な関心に対して、機会を逃さず全庁一体で着実に対応していくことにより、広島の更なる発展につなげていく。

6 その他（関連情報等）

(1) 予 算

広島サミット県民会議 累計予算 761,000 千円（うち、県負担金 380,500 千円）

(2) ホームページ

県民会議 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshima-summit/>

外務省（G 7 HIROSHIMA2023） <https://www.g7hiroshima.go.jp>